

「ひがしどおりのさんぽみち」

「ひがしどおりのさんぽみち」では、村で見つけた、風景や花などを紹介していきます。

また、村民の生涯学習、芸術活動の発表の場として広く提供します。東通村を描いた絵画や東通村で撮った写真、東通村にまつわるものならジャンルを問いません。皆さんの作品もどしどしご応募ください。

＜お問合せ＞

東通村役場総務課 広報係

☎ 27-2111

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる
ことをお願い致します。

中里寅男(目)	杉本さくの(野)	掛端末五郎(白)	坂本せろ子(桑)	北川ツエ(小田野沢)	田中るゑ子(入)	坂上みよ(尻)
(名)	(牛)	(糠)	(原)	(口)	(口)	(労)
78歳	93歳	91歳	86歳	93歳	83歳	90歳

★お悔やみ申し上げます

坂下礼恩(健)	坂逸生(聡)
斗(尻)	子(入)
口屋	

★お誕生おめでとう

戸籍のおとめ (9月届出分)



真手奨さん(砂子又)の
長女 望 叶 ちゃん



酒谷純也さん(小田野沢)の
次男 陸 音 くん



越善崇仁さん(岩屋)の
長男 蒼 史 くん

満
1
歳
で
す
!

東通村 ジオパーク 探訪

今号からは、猿ヶ森砂丘ジオサイトの中にある貴重な資源を紹介します。

猿ヶ森砂丘ジオサイトは、地質的な価値のほかにも、豊かな生態系や歴史的価値のある遺跡や文化など、たくさん見どころがあるサイトです。その中でも今回は、下北ジオパーク活動の中で改めて注目を浴びた“鳴き砂”という珍しい砂についてご紹介します。

鳴き砂は、“シンギングサンド”などとも呼ばれ、足を擦るように歩くと「キュッ」とか「クィッ」といった音が鳴ります。

砂が鳴くためには、石英を(注)多く含み、砂粒も大きく揃っていて、なによりも、不純物や汚染のない“清らかな砂”である必要があります。そのため、どこの砂浜にもあるわけではなく、海洋汚染や海浜開発の影響により、全国的に少なくなっている貴重な資源です。東通村の鳴き砂は、他の地域と比べても粒が大きい方で、そのため音も良く響くと考えられています。(「鳴り砂ノート」共著/川村国夫、真柄建設技術研究所 より)

見つけにくく、天候の影響で鳴かないこともある鳴き砂は、普段は野牛川レストハウスに展示しています。体験もできますので、ぜひ足を運んで、その清らかな音色を聴いてみてください。



猿ヶ森砂丘ジオサイトの鳴き砂を拡大した写真。粒の大きな鳴き砂で、氷のような無色透明の粒が石英です。

(注) 石英は、ガラスの主な成分と同じ二酸化ケイ素 (SiO₂) からできている無色透明の結晶。鳴き砂を良く見ると、透明の粒がたくさん含まれています。